

いたらその人がかわいそう

それに、少しあつい。

僕は、それでも大脱走をもう一度見ることにした。

今度は、前の方の席にすわり、映画のスクリーンが僕の視野いっぱいになるまで近づいて坐った。

二度目は、ほとんど、横に書いてある日本語字幕を、読まず、英語を聞いていた。

さすが、長いこと坐っていて、腹がへった。

坐り心地も悪くなってきた。

体がだるく、場内ムンムンで、酸素欠乏の気分。

それでも熱中して見ていた。

一回目ではまったく

観客の反応がなかったところで

二回目では、わっと観客の反応があった。

アクロバットで、オートパイが飛ぶ場面。

観客の反応が一回目と二回目では違うのに気がついた。